# サーババックアップの方法

業務で使用しているサーバのデータ管理は、本来 RAID 環境を組む等サーバ側でされるべきものです。例えば、HDD を２台準備しておき、同一データを常に二つの HDD に書き込むことで対応するデュアルシステムや、普段は一方が対応しておき、インシデントが発生すると、もう一方が作動するデュプレックスシステム等があげられます。しかし現在の三井小学校の現状を考えると、コスト対効果の点で問題があります。

そこで、バックアップ先を個人の PC で管理行うミラーリングの手法を紹介します。ミラーリングを行うと、単にフォルダごとコピーしてバックアップする方法と比べて、効果は同じでも作業コストの減少に著しく作用します。

# フォルダごとコピーする方法とミラーリングの違い

よくやるバックアップの方法としてはフォルダのコピーです。フォルダのコピーは、手軽で便利ですが該当フォルダ配下の本来コピーしなくてもよいような、変更していないデータも、上書き確認後、一括してコピーしてしまいます。これは、時間とネットワーク帯域の無駄です。また、コピーの途中で、「これはプログラムだからどうしますか」等という、ダイアログが出てコピーがとまってしまっているという悔しい思いをした人も多いと思います。目安として１００MB 以上のデータがある場合は定期的にミラーリングすることで、この問題は解決できます。

ミラーリングは、自動的にバックアップ元と、バックアップ先とのファイルを比較して、更新があったデータや、新規作成されたデータのみをコピーします。また、バックアップ元のデータを削除すると、バックアップ先のファイルも削除してくれます。皆さんもサーババックアップにミラーリングを使い幸せになりましょう。

# DiskMirroringTool のインストール

ミラーリングするツールはたくさんあるのですが、便利なフリーソフトウェアを紹介します。DiskMirrorringTool と書いて「ディスクミラーリングツール」と読みます。

まずは、インストールファイルをダウンロードしましょう。インストールソフトウェアは、[redacted]¥f¥software¥diskmirrorringtool にあります。いつもバックアップに使っている F ドライブの software フォルダの中の diskmirroringtool フォルダの中の dmt122.exe をダブルクリックすれば OK.

←こんなアイコン

ダブルクリックすると、「ファイルによっては云々」というダイアログを表示されますが、無視して、無視して[開く]ボタンを押下しましょう。そうすると、今度は、[次に]-[次へ]-[次へ]と押下すると、インストールされます。

# DiskMirroringTool の起動

Windows のスタートボタン―「すべてのプログラム（P）」－「MERCURY」－「DiskMirroringTool」―「DiskMirroringTool」として起動してください。よく使うべきプログラムなのでショートカットを作ってもいいですね。

CONFIDENTIAL